

平成 29 年度 第二回 中央図書館区民懇談会 次第

日 時：平成 29 年 10 月 31 日（火）

午後 3 時～午後 5 時

場 所：中央図書館 視聴覚室

1 あいさつ

2 説 明

- ・これまでの検討状況について

資料 1

3 懇 談

- ・新たな中央図書館の施設・サービスについて
 - ゾーニング（案）等について
 - 課題解決型図書館
 - 板橋の魅力“緑と文化”を象徴する図書館

（資料）

- ・「第一回区民懇談会の概要」
- ・「国内図書館の取組事例の紹介」

資料 2

資料 3

平成 29 年度 第 2 回 板橋区立中央図書館区民懇談会 概要

1 日 時：平成 29 年 10 月 31 日（火）15：00～17：00

2 会 場：中央図書館 視聴覚室

3 当日出された意見・提案

（1）施設のゾーニングについて

- ・別紙 1 にはないが、お手洗いの場所はどこか。
→1 階は予約本側の管理諸室等の前あたり（だれでもトイレ含む）と児童エリアのなかに児童用トイレを設置予定で、各階同じような位置に配置する予定。
- ・地下の排水を効率的になされるように考慮してほしい。
→書架があるので、本を守るために外周部で止水の仮設計画を行う。地下は二重壁にし、万が一、壁と壁の間から雨水が侵入してしまった場合の側溝を設ける。側溝から流れた水は地下床下に設置したピットに流れる仕組みとする。このように地下で生じた排水はポンプにより公設の排水管の水位以上までくみあげてから排出する想定である。
→駐車場などの外部への開口部があっても問題ないのか。
→問題ない。
- ・いたばしギャラリーやラウンジは休館日でも利用できるのか。
→エントランスホールから区切り、休館日でも利用できるようにする予定。
- ・吹き抜けはどのようなものになるのか。
→2 階、3 階の吹き抜けは少しななめにずれており、1 階から 2 階、2 階から 3 階への視線を確保する。
- ・吹き抜けの大きさはどれくらいか。展示などに生かせるくらいのスペースはあるのか。
→吹き抜けの中に透明なガラスのエレベーターをいれることで動線が見えるような設えを想定。吹き抜けのまわりをどう活用するかは検討中。
- ・将来的に蔵書を増やすことにあたって対応する方策、案はあるのか。本棚の配置がえなど可能なのか。
→柱同士の間隔を広くとることで書架の配置がえにも対応できるような設計を想定。
- ・テラスが公園側に向いていることが良い。
- ・児童エリア、おはなしの部屋、絵本館とエリアごとに名前を変えているがそれぞれアプローチの仕方が違うのだろうか。

- 児童エリアは乳幼児から低学年、さらに高学年向けに分けてエリアを囲うことで世代別の子どもたちが活用する場とする想定。絵本館は子どもたちだけでなく、絵本の研究家や学生も利用できる場となる想定なので、展示などのアプローチが変わる。あいだのおはなしの部屋は、子どもたちが数十人単位で集まって読み聞かせができるスペースを設けることで両者の領域を共有できるようなゾーニングとして取り組んでいる。
- 基本計画のなかに通路等余裕度とあるが、2とはどのくらいなのか。
→車いす同士がすれ違えるような通路幅のことである。主要な動線で確保する予定。
 - 中央図書館主催の「とびだせとしょかん！」に参加したところ、いろんな世代が参加できる講演会がとてもよかった。また、託児所が設けられていたので、小さい子供がいても講演会に集中できた。新中央図書館では講演会などをギャラリー・ラウンジでできるのが良い。入り口からはいつて見えやすい位置にあるのも良い。それに加え、託児のスペースがあると母親世代にとって有用であるとおもう。
 - 高学年になると静かに学習に取り組むようになるので児童エリアと学習室が区切られているのが良い。
 - 100年後までを見据えた使い方、設計をしてほしい。
 - 別紙2について平和公園にまっすぐな動線を残してもらえたことは非常に良い。
 - エレベーターの台数と最大重量を教えてほしい。
→吹き抜けのところに来客用のエレベーターがあり、まだ詳細は決まっていないが、身障者用の車いすと人が乗れるようなものを想定している。また、管理諸室のなかに本の運搬用の小型なエレベーターがあるので、合計2台を設置予定。
 - 地下の書庫の除湿の考え方を教えてほしい。
→館内の温度、湿度と光についてはコントロールしていく考えであり、自然換気は行わず、外気を直接取り入れることがない機械設備による換気と除湿機能を備えた空調システムで、書籍にカビ等が発生しない一定した温湿度環境を保つ想定である。
→対策をしても、他の図書館で本がカビてしまったなどの事例があるので除湿対策には細心の注意を払ってほしい。
 - 地下の駐車場は車高何mまではいれるのか。
→運搬車もはいることを想定して2.8mから3m程度の高さを確保できるように努めている。
 - 非常口はあるのか。
→ある。最終避難口となる1階の2か所の出口に向かって避難経路がわかる

ように館内に避難誘導のサインも設ける。この他にも1階から直接公園側へ出入り口を設定し避難時の運用を検討する。

- ・外階段はあるのか。
→今のところ想定していない。多目的室横と管理諸室の2方向階段で1階へ降りる。
- ・外階段をつけない理由は何か。
→外部からの侵入や本の運搬の際に雨風から守るなど、管理上の問題がでてくるため。
- ・各エリアにかべはあるのか。あるとしたらガラス張りなのか。
→壁で区切る想定はしていない。おはなしの部屋は遮音性が求められるので仕切る予定。
- ・テラスは飲食可能か。
→現在検討中。
- ・2階の視聴覚コーナーは視聴のみか、貸出もできるのか。
→貸出、視聴覚ブースについては現中央図書館のように引き続き設置する予定。
- ・学習室には透明な仕切りがよい。
- ・赤ちゃんの駅・プレイルームは位置的にギャラリー等と離れているので、休館日には使えないのだろうか。
→今のところ休館日に使う想定はしていないが、今後の検討に生かしていく。
また、ギャラリー等を大きな一つの空間としてではなく分割させることで託児などに活用できるような自由度も確保する想定。
- ・ハンディキャップコーナーは可能な限り1階にしたほうが良い。
→ハンディキャップコーナーは視覚障害への対応を想定しており、読み聞かせに適切な静かな環境となる3階とし、利用においても図書館員による人的対応しやすい位置とすることを重視し、常に図書館員の常駐する3階のカウンターの近傍に設置予定としている。なお、3階にも車いす利用可能なトイレの設置を検討する。
- ・災害があった時にエレベーターが使えないと避難が難しい。
→災害時はエレベーターでの避難は想定していない。エレベーターの停止による閉じ込めを防止する観点から、避難にエレベーターを用いることはできないことが法的に定められている。車いすの方はテラスがあるのでそこから避難器具やはしご車などで避難してもらう。また、ハンディキャップコーナーのみならず、在館する利用者の避難を階段を使っていかにスムーズに行うかが重要となるため、館内の東側両端近くに火災時には区画された避難階段を配置する。2・3階では、一方の階段への経路が使えなくとももう一方へ逃げられるよう、二方向の避難を可能とする動線計画とする。各

階の主動線の幅員を約 1.8m とし避難しやすい通路とする。管理側の階段も閲覧側から来館者が直接利用できる計画とする。さらに消防設備として屋内消火栓を備えることや図書館職員の避難誘導の補助による総合的な避難が可能な計画を検討していく。

- ・避難の際の階段から入り口へ向かうと自転車おきばがある。高齢者や子どもの避難の邪魔にあるのではないかと。公園側に逃げられると良いと思う。
→自転車置き場と出口は重なることのないよう、安全に避難できる経路を確保する。公園側 1 階利用者は直接最も近い出口に向かって公園側に避難することも可能とし、上階からの階段経由の避難者と交錯しない安全な計画としている。駐輪場側においても避難動線と駐輪場配置が交錯しない計画とする。
- ・階段が東側に偏っている。火から遠いほうに逃げられるように階段をべつの方角にも設置してほしい。
- ・コンシェルジュカウンターがエレベーターの後ろになるのか。
→別紙 1 は簡易的な図なので、本来はひらけたところに設置する予定。
- ・ハンディキャップエリアについて、トイレの近くにあったほうが良い。壁つたいにひとりで行きやすい。
→ハンディキャップコーナー利用者のみならず、お子さん連れの方や様々な利用者に広く使いやすい計画とする思想に基づき、「誰でもトイレ」は 1 階に配置するほか、ベッドの設置を検討する。各階のトイレ内にも手摺や非常通報装置を備えたトイレや手洗いを設け、すべてのトイレで障害があるなしにかかわらず使いやすいトイレ計画を検討する。

(2)「課題解決型図書館」「板橋の魅力“緑と文化”を象徴する図書館」について

- ・古い資料は入れ替えて、新しい資料を増やしてほしい。
- ・レファレンスの敷居を低くして、来やすくするためには何が必要なのだろうか。
→どういう課題が解決できるのかわからないので、レファレンスの実績を提示することで利用しやすくする。
→板橋区ではこの本があるかななどの所蔵調査が多い。今年度から国立国会図書館のレファレンス共同ベースに加入したところで、公開に向けた準備をすすめている段階である。新中央図書館ではレファレンス事例を蓄積して紹介していこうと考えている。
- ・レファレンスの際、待っている時間は長く感じるものなので調べている間に過程が分かるのは良い。
- ・図書館と外部団体との連携の成果を、ブックリストを作成するなどして P R す

る必要がある。板橋区として提供することができる分野をPRする。

- ・図書館の利用者には学生も多くいると思うので、学生の調査にも対応するのか。
- ・レファレンスという言葉がまだ区民に定着していない。区民へわかりやすく伝えていくことが大切であると思う。「課題」を意識して図書館に来るひとはそんなにいない。ちょっとした疑問にも答えられる、ということをアピールしていくことで身近にとらえられるようになる。
- ・せっかく公園にあるので公園にいるときに読むおすすめの本などを外向けに並べてみるのも良い。

(3) その他

- ・障がい者サービスについて必要な方へのPRをしたほうが良いと思う。
- ・絵本館でボランティアをしているが、外国語の絵本を展示するときにプロが翻訳したものやボランティアが翻訳した日本語版を並べたりしているので、そういう活動の場を増やしてほしい。
- ・基本構想、基本計画を策定するにあたって初めから終わりまで区民の方を交えてきたことが、区民による図書館づくりであると感じられた。
- ・建物を造るのも大きな仕事であるが、どう運営していくかが非常に重要である。運営のなかではヒトの問題というのがきりなく出てくる。資格があれば良いということではなく、図書館に対してしっかりとした考え、視点を持っている方が関わっていくことが大事である。
- ・司書は資料に関するだけでなく、図書館運営そのものについての知識も大事である。特に選書、管理が鬼門となるので区の職員が従事しているなかでぜひ司書の資格がある人がいると良い。

4 追加の意見・提案

○地下駐車場について

- ・懇談会では高さ制限 3m程度とのことだったが、完成後の引越や初度調弁での書架等の大型什器の搬入のほか、将来の空調設備更新・大規模改修等のことも考え、3.8mくらいは確保した方がよいと思われる。
- ・車両進入口が常時開いているので、雨天時には駐車スペースおよびそこに隣接する管理室や倉庫の湿度が高くなると予想される。そのため、当該室内に設備的な除湿装置を設けるのであれば、備品として除湿器を設置できるように設備を整えたほうがよい。
- ・設計の仕方にもよるが、地下室の出入り口を開けた時に地上進入口から強風が吹きこむ可能性もあるので風除室を設けるなど強風対策を講じることが望ましい。

- ・大型什器などの搬入の際、管理室を通してではなく、直接エレベーターに行けるように駐車スペースから地下室出入り口を入れてエレベーター部分まで廊下としての独立通路を設けたほうが良い。
- ・一般利用者には使わせないとする場合、車両進入口に掲示板等を設置したり、進入口にバーを設けて管理（インターホン応答など）したりなど、ルールの保持をどのようにして行うかが重要だと思われる。また、休館日や夜間に勝手に使われない対策も必要である。
- ・身障者車両は駐車可能とする場合、利用者に対応を機械設備で行うのか否かによって設計も変わってくるので十分な検討が必要だと思われる。

○管理用エレベーター

- ・小型のエレベーターであるとの説明であったが、什器の搬入や館内で急病人が発生した場合にストレッチャーをエレベーターに乗せて地下室出入り口まで運べるようにある程度の面積を確保した方が良い。
- ・屋上への設備機器搬入や中長期の大規模改修などを考えれば、屋上まで行けるようにしておくことは十分検討に値すると思う。

○その他

- ・1階の二ヵ所の出入り口は直線的に配置されているため、両方の出入り口が同時に開いた場合、風の通り道となって葉や砂埃が入る可能性がある。風除室があるとは思いますが、利用者が頻繁に出入りすることも考えて、配置のあり方を十分検討する必要があると思われる。
- ・別紙2には車いす利用者が公園東南側から図書館出入り口まで行く場合、どのような動線で進めるのかの記入がないので、点線等でそのルートを記すことが望ましい。
- ・将来の改築修繕や時代変化による利用者要望の変化に対して、未来の利用者が体感的に使いやすい図書館としてゾーニングの調整が可能となるよう、ある一定の余裕が望ましい。
- ・一階の予約本のカウンターでは、貸出手続きはどうなるのか。別々の場所で貸出手続きとなれば煩雑であり、利用者の動線と職員側に動線のそれぞれが忙しくなるのではないか。

→予約本については、利用者の利便性を考え、1階の入り口付近へ設置し、貸出処理を完結させる予定である。よって、現時点の想定では、2階の開架図書で別の図書の貸出を行う場合は、別途、自動貸出機で貸出処理を行うことになるが、図書館では、機器の特性を活かし、最適な運営・サービスのあり方について更なる検討を進めていく予定である。

- ・ボローニャの絵本や開架図書が長い間良い状態で利用者の手に届くように日差し対策をしてほしい。公園の樹木の日陰も夏と冬で異なるので、そのことも加味しつつ配架を検討しておくことが望ましい。

- ・児童エリアをどこでも座って読めるような造りにすれば、公園との連続性があり、本を公園で楽しむことへの意識的広がりが成立しやすい。
- ・内装デザインについて、ゾーンごとの多様なデザインを望む。
- ・学生を対象としたイベントを継続的に開催してほしい。
- ・課題解決のためには自習場所の確保も必要である。
- ・蔵書に関して、区で1冊となった資料は長期的に保存できることが望ましい。図書の保存と提供を旨とする図書館としては、50年後に来る利用者の要求にこたえることができることが、原理として好ましい。

これまでの検討状況について

1 検討内容の中間報告

(1) 基本設計（案）について

「板橋区立中央図書館基本構想」（以下「基本構想」という）及び「板橋区立中央図書館基本計画」（以下「基本計画」という）を踏まえ、新たな中央図書館のフロア構成など基本的な事項や平和公園内の具体的な建設場所などを定める基本設計作業を進めている。現在の検討状況は以下のとおりである。

①建物概要

- (ア) 件 名 板橋区立中央図書館
- (イ) 建築場所 板橋区平和公園内
板橋区常盤台四丁目 4 番 2 号ほか（住居表示）
- (ウ) 敷地面積 18,589.01 m²（平和公園敷地面積）
- (エ) 用途地域 第一種中高層住居専用地域
建ぺい率 60%、容積率 200%
- (オ) 構造規模 鉄筋コンクリート造 地下 1 階地上 3 階建て
- (カ) 建築面積 1,500 m²程度
- (キ) 延べ面積 5,300 m²程度
※延べ面積については暫定であり、諸官庁との協議により変更となる場合がある。
- (ク) 関連工事 環境整備工事、樹木移植工事
- (ケ) 環境配慮 太陽光発電
- (コ) ユニバーサルデザイン配慮
エレベーター及びだれでもトイレの設置等

②各階フロアの配架内容

階数	内 容
1 階	ボローニャ絵本（海外絵本、翻訳絵本）、ボローニャ市紹介資料、絵本・児童書、参考図書（学習図書）
2 階	一般図書、新聞、雑誌、青少年向け図書、視聴覚資料 等
3 階	地域資料、櫻井徳太郎文庫紹介図書、平和資料、交流都市資料、障がい者向け資料、多文化資料、参考図書 等

③各階フロアのゾーニング図（案）（別紙 1）

④平和公園の整備方針（案）について（別紙 2）

(2) 板橋区立図書館蔵書方針（計画）について

板橋区立図書館では、中央図書館を核とし、地域図書館と連携して資料や情

報提供を行っている。新たな中央図書館の整備に際し、社会やニーズの変化や新たな情報媒体に対応し、図書館資料の充実や適切な管理を行い、板橋区立図書館全体の魅力的なサービス向上をめざすことを目的とし、板橋区立図書館蔵書方針（計画）の検討を行っている。

蔵書方針（計画）では、課題とニーズを把握したうえで、バランスがとれ、かつ魅力が持続する蔵書構成を構築するため、資料収集、除籍基準等を改定し、各館の役割分担収集と統一的な蔵書マネジメントを示す。（平成 30 年 2 月策定予定）

(3) ICT 導入に関する方向性について

新たな中央図書館の整備に際して、ICT を活用した魅力あるサービス提供と利用者の利便性の向上及び効率的な事業運営を行うことを目的として、ICT 機器導入内容の検討を行っている。（平成 30 年 3 月方向性の策定予定）

IC タグの装備や自動貸出機、Wi-Fi 環境の整備を始め、オンラインデータベースの導入の拡大、電子書籍等を活用した学習・研究環境支援の充実を図り、区立図書館全体で、将来を見据えた魅力的な ICT 化によるサービス提供をめざしていく。

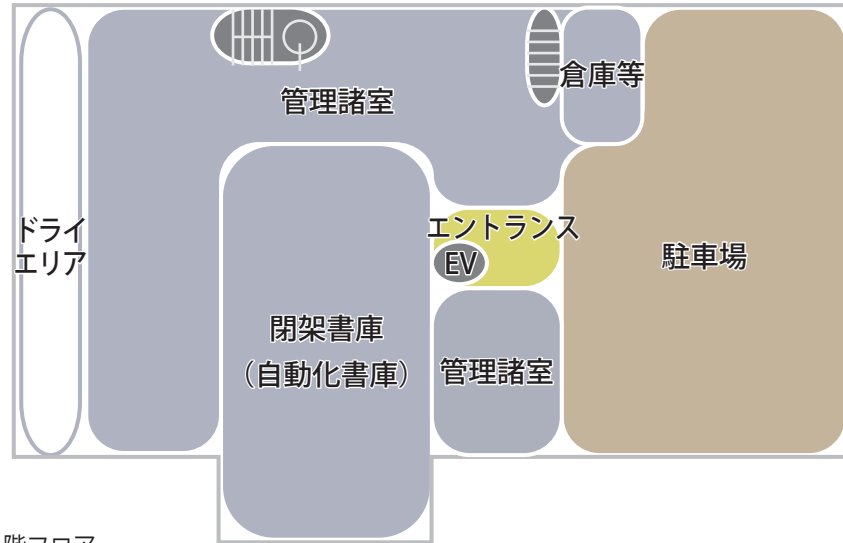
2 今後の予定

平成 30 年 1 月	基本設計	策定	平成 31 年 1 月	実施設計	策定
平成 31 年 3 月～	建設工事				

※ 建設工事完了後、平成 32 年度中に開館する予定である。

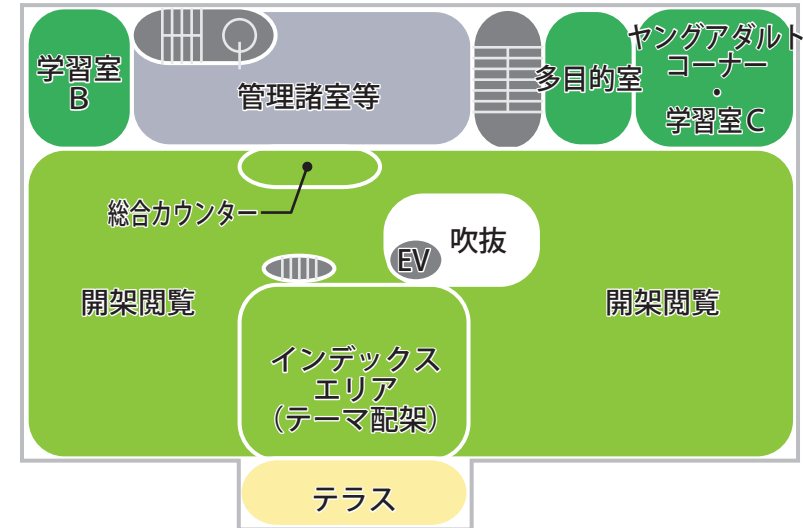
B 1階フロア

事務機能・閉架書庫・配本スペースを集約します。



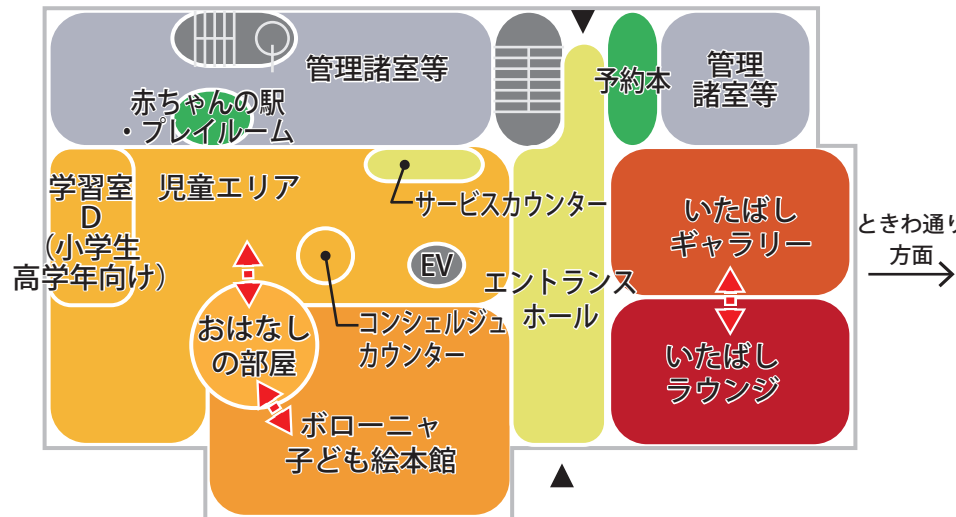
2階フロア

中央に様々な情報と出会うインデックスエリアを整備し、豊富な図書資料を配架します。



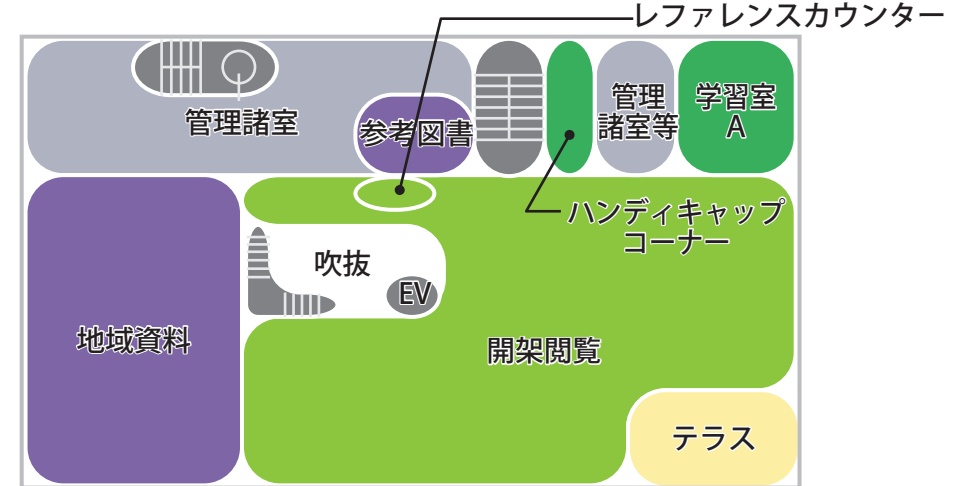
1階フロア

「絵本のまち板橋」を象徴するボローニャ子ども絵本館をエントランス付近に配置します。



3階フロア

知識を深めるフロアとして参考図書や板橋区コーナー（地域資料等）を整備します。

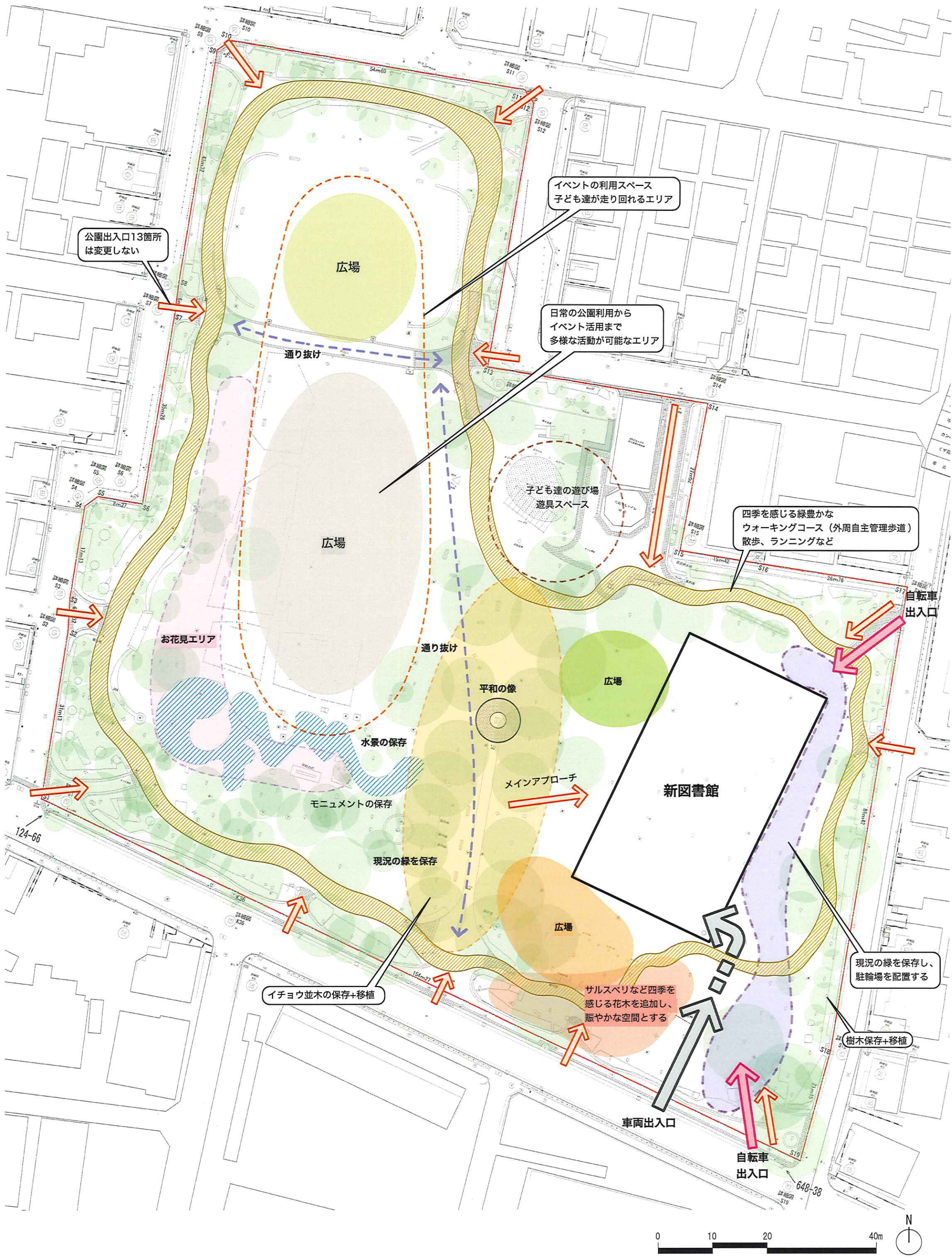


凡例

- | | | | | | |
|------------|-------------|------------|---------|-------------|--------|
| ■ いたばしラウンジ | ■ いたばしギャラリー | ■ ボローニャ絵本館 | ■ 児童エリア | ■ エントランスホール | ■ 開架閲覧 |
| ■ 利用者用室 | ■ 地域資料 | ■ 管理諸室 | ■ 縦動線 | ■ 駐車場 | ■ テラス |



図書館建設に伴う公園整備について



	ご意見、ご提案	状況
図書館資料の配架・サービス	地域資料の収集とともに、活用についての情報発信を積極的に行うのはどうか。また、板橋区のとことが全てわかるようなコーナーを設けてほしい。	1 階にボローニャこども絵本館を、2 階にインデックスエリアとしてテーマ展示を行うコーナー、3 階に板橋区コーナーを地域資料・櫻井徳太郎コーナーとともに設けることとし、テーマごとの資料（図書）の配架を目指していく。 また、総合的なレファレンスのほか専門的な分野についてもあわせて支援していく。
	絵本館と櫻井徳太郎文庫の資料は目玉になるので、これを活用した施策を打ち出した方が、図書館としての板橋らしさ、魅力をアピールできるのではないかと思う。	
	板橋らしさを象徴する図書館として、「ものづくりの板橋」「中小企業の支援」の姿勢が見えづらいように思う。展示やイベントではなく、資料の充実や課題解決というくくりの中に、中小企業、ビジネスの役に立つレファレンスという項目をはっきりと打ち出した方がよい。	
電子書籍	機器（媒体）についても検討してほしい。子どもの貧困対策の観点から、電子辞書なども考慮してはどうか。また、家庭にPCやタブレットがない利用者のために図書館内での機器の貸出も必要であると思う。	ICT 機器導入について検討中であり、IC タグ関連機器、Wi-Fi は導入予定である。電子書籍、タブレット貸出も検討する。

	ご意見、ご提案	状況
課題解決型 図書館	有料データベースの利用環境を充実させてほしい。中央図書館で一括契約して、どの地域図書館からもデータベース利用ができるようにできないか。	新中央図書館では、データベースを増やす予定である。また、地域館についても指定管理者への業務要求水準のなかに有料データベースは各館で導入するよう定めて、中央館として、各館の導入状況からバランスを考慮し調整する。
学校・地域と 連携する図 書館	学校に支援する図書館の機能と、公共図書館として子どもたちに提供するサービスはわけて考えたほうが良い。前者は学習指導要領に則り、各学期で使用するような図書を中心に集め、先生の授業をサポートするなどの教育活動の支援で、後者は、集団学習ではなく、子ども自身が興味を持ったものを育てていく、という個別的な支援の役割がある。	学校に支援する機能については新たな学習指導要領に則り、必要な資料を学校側と調整して収集したい。児童サービスは、児童・絵本コンシェルジュを配置し、個々の子どもの育ち、興味に本など紹介していく。
施設・ゾー ニング	絵本館では、おはなし会のほか、季節によってハンドベル演奏会などがある。遠慮せずに音を出せる場所をつくってほしい。また、子どもが声を出しても大丈夫なつくりにしてほしい。	上の階にいくにつれて静かになるという階層的な設計を検討している。児童エリアをについては、子どもたちが声をだせる空間と学習する空間を分けたつくりを目指している。

	ご意見、ご提案	状況
図書館サポーター	ホームページから図書館サポーターについての募集ページが見つけづらく、募集は平日昼間だけで、サポートの内容も主に障がいがある方のための本の読み上げというのが現状である。時間帯や仕事内容の種類を増やしたほうが良い。	募集のしかたおよび時間帯については、今後わかりやすく活動しやすいように改善する。また、現状「読み聞かせ」が主となっているサポーター活動については、本の補修など従事内容の種類を拡大するための講座も実施している。

The background features abstract, overlapping green geometric shapes in various shades of green, creating a modern and dynamic feel. The shapes are primarily located on the left and right sides of the slide, framing the central text.

平成29年度第二回中央図書館区民懇談会
国内図書館の取組事例の紹介

5つの重点テーマ

1. 生涯を通じこころの豊かさを支える図書館
2. 課題解決型図書館
3. 学校・家庭と連携する図書館
4. 地域のコミュニティ形成を支援する図書館
5. 板橋の魅力“緑と文化”を象徴する図書館

ー板橋区立中央図書館基本計画より

課題解決型図書館

- ・ 課題解決をサポートするためのレファレンスサービスの充実
- ・ 他自治体図書館や関係機関との連携強化
- ・ ICTを活用した資料確保とインターネット環境の整備

課題解決のための レファレンスサービスとは？

- ▶ 図書館利用者からの質問に応じて、司書が資料の照会や検索を行い、資料と利用者を結びつける業務
- ▶ 利用者のなぜ？に答えるため、図書館・学校・他施設とのネットワークを活用



交流できるレファレンスカウンターへ ー各館での取り組み

立ち寄りやすい
レファレンスカウンター



市立小諸図書館（長野県小諸市）

調査過程を共有する
レファレンスカウンター



秋田県立図書館（秋田県）

地域の特性に合わせたレファレンス ー農業支援サービス事業

地元の農業情報を集約・提供

おやま 地産地消ライブラリー
OYAMA LOCALLY PRODUCED AND CONSUMED LIBRARY

おやまの農産物 おやまの美味しい味 地産地消ってなに? 中央図書館の取り組み

ホーム > おやまの農産物

おやまの農産物の一覧

小山の農産物についての情報を集めたデータベースです。
下表の野菜・果物などの名前をクリックしてください。くわしい情報を見ることができます。

おやまの農産物

おやまの農産物の一覧

- ばれいしょ
- 二条大麦
- 和牛
- きゅうり
- はくさい
- はとむぎ

農業支援のブックリスト

小山市立中央図書館 農業支援サービス事業 ブックリスト NO. 1

農家・生産者のためのブックリスト

中央図書館で、「農業支援サービス」を始めました！
今回は、農家や生産者の方々に役立つ本をピックアップしてみました。ぜひご利用ください。

○農業経営に役立つ本

No.	書名	著者	出版社	請求記号
1	やらなきや損する新・農家の青色申告 新版	小沢 慎一郎	農山漁村文化協会	611オ
2	農業の経営と生活	七戸 長生	農山漁村文化協会	611シ
3	早わかり農業法人のすべて メリットと設立・運営の手引き	酒井 富夫	家の光協会	611サ
4	知らなきや損する農家の税金実例集 続	鈴木 武	農山漁村文化協会	611ス
5	農家のためのインターネット活用術	まちむら交流きこう	創森社	611ノ
6	農業は有望ビジネスである！ 新たな高付加価値産業になる時代	涌井 徹	東洋経済新報社	611ワ

○今、注目の地産地消と地域ブランド

小山市立中央図書館（栃木県小山市）

<https://library.city.oyama.tochigi.jp/chisanchisyou/torikumi.html>

https://library.city.oyama.tochigi.jp/document/nou_booklist_01.pdf

インターネット時代のレファレンス ーレファレンス協同データベース



レファレンス協同データベース

Collaborative Reference Database

ログインヘルプ文字拡大
What's CRD? (English)

トップ

検索クリア

ページ表示数 ☐ 10 ☒ 25 ☐ 50 ☐ 100 ☐ 200
<詳細検索>[レファレンス事例](#)/[調べ方マニュアル](#)/[特別コレクション](#)/[参加館プロフィール](#)

お知らせ

2017年 9月27日

レファ協事業がLibrary of the Year 2017 ライブラリアンシップ賞を受賞しました。今回の受賞は、全国の図書館が協力しあって、レファレンスを12年以上に渡って集積し、社会に対して可視化・公共財化したことを評価していただきました。これもひとえに、750を超える参加館の熱心な活動の賜物と感謝しております。今後ともレファ協をどうぞよろしくお願いいたします。

2017年 10月5日

自由学園羽仁両先生記念図書館、浅野中学校 浅野高等学校 図書館 清話書林が参加館になりました。

2017年 9月5日

南山大学図書館が参加館になりました。

2017年 8月28日

滋賀県立安曇川高等学校図書館が参加館になりました。

Twitter

Tweets by @crd_tweet



国立国会図書館関
@crd_tweet

2年前に知り合いから紹介された本のタイトルを知りたい。(略)文字はそれほど多くない。絵または写真がメインだった。イラクか中東の国が舞台。お母さんが「仲良くなるためには、みんなでご飯を食べましょう」というシーンがある。(国立国会図書館 [レファレンス協同データベース](#))

参考) <http://crd.ndl.go.jp/reference/>

板橋の魅力”緑と文化”を象徴する図書館

- ・ ”水や緑”などと調和した心地よく読書できる空間づくり
- ・ 区の特性となる資料の収集・保存・活用
- ・ ボローニャ子ども絵本館を活用した事業展開
- ・ 教育科学館など近隣施設や公園と一体となった新たな連携事業の実施

公園のあり方を見直す法改正 ー都市緑地法・公園法などの一部改正

公園とみどり

> 都市局トップ > 公園とみどりトップ

[ホーム](#) > [政策・仕事](#) > [都市](#) > [公園とみどり](#) > 都市緑地法等の一部を改正する法律が平成29年6月15日に施行されました

主な施策

- > [政策課題](#)
- > [個別施策](#)
- > [都市公園](#)
- > [国営公園](#)
- > [緑地保全・緑化](#)
- > [普及・啓発活動](#)
- > [技術開発](#)

都市緑地法等の一部を改正する法律が平成29年6月15日に施行されました

公園、緑地等のオープンスペースは、良好な景観や環境、にぎわいの創出等、潤いのある豊かな都市をつくる上で欠かせないものです。また、災害時の避難地としての役割も担っています。都市内の農地も、近年、住民が身近に自然に親しめる空間として評価が高まっています。

このように、様々な役割を担っている都市の緑空間を、民間の知恵や活力をできる限り活かしながら保全・活用していくための都市緑地法等の一部を改正する法律及び関係政省令が、6月15日に施行されました（一部については平成30年4月1日施行）。

基礎資料

◇ 都市緑地法等の一部を改正する法律（平成29年法律第26号）
[概要（PDF）](#) / [本文（PDF）](#) / [新旧（PDF）](#)

基本情報

- > [公園緑地関連税制](#)
- > [所轄法律](#)
- > [公園緑地関係データベース](#)
- > [報道発表資料](#)
- > [審議会等](#)
- > [検討会等](#)

参考) http://www.mlit.go.jp/toshi/park/toshi_parkgreen_tk_000073.html

見直される公園と公共施設 —荒川区宮前公園周辺地域と周辺地域



宮前公園周辺地域等における公共施設の順次更新について

更新日：2016年10月3日

宮前公園周辺地域において、新たに設置する宮前公園の整備にあわせて、国家戦略特区の規制緩和も活用し、老朽化している公共施設の順次更新・有効活用を行います。

宮前公園周辺地域の現状及び課題

- ・ 保育園や福祉作業所等が利用している旧小台橋小学校、西尾久保育園等の公共施設の老朽化が進み、建替えの必要がありますが、施設建設用地の確保が難しい状況です。
- ・ 保育需要が今後も引き続き増加していく見込みです。
- ・ 区民の憩いの場の創出のため、約2.3ヘクタールの宮前公園の整備を進めています。

公共施設の順次更新の進め方

宮前公園の整備にあわせて、国家戦略特区制度も活用し、以下のプロセスで施設整備を進めます。

宮前公園内に新保育園舎を建設します。

老朽化が著しい旧小台橋小学校内の小台橋保育園（公設民営）を宮前公園内の新保育園舎に仮移転させます。

旧小台橋小学校舎を解体・除却し、その跡地に新小台橋保育園（民設民営）を整備し、仮移転中の小台橋保育園を移転します。

その後、宮前公園内の保育園舎には西尾久保育園を定員拡大させた上で移転し、現西尾久保育園は廃止します。

宮前公園内に新図書館を整備し、尾久図書館を移転します。

参考) <https://www.city.arakawa.tokyo.jp/smph/kusei/kouso/keikaku/miyamaetamatuki.html>

見直される公園と公共施設 —大阪府枚方市の公園一体型図書館計画



枚方市
Hirakata City

[本文へ](#) > [Foreign language](#) > [サイトマップ](#) > [携帯サイト](#)

背景色 標準 反転 文字サイズ 標準 拡大 音声読み上げ

🔍 サイト内検索

[トップ](#) [くらし](#) [子育て
教育](#) [健康・医療
福祉](#) [学び・文化
スポーツ](#) [事業者
向け](#) [市政情報](#)

[トップ](#) > [市政情報](#) > [審議会などの情報](#) > [一覧\(分類ごと\)](#) > [まちづくり・行政](#) >

香里ヶ丘図書館建替工事設計業務に係るプロポーザル

[2017年8月30日] ID:11114

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます [f シェア](#) [ツイート](#)

概要

本市では、若年・子育て世代を中心とする新たな市民層の定住を促し、持続可能な都市をめざすために、香里ヶ丘地区におけるまちづくりの一環として、香里ヶ丘図書館や隣接する香里ヶ丘中央公園等の公共施設の再整備を進めることとしました。そこで、本市の南部地域における図書館サービスの拠点であり、まちの魅力を支える施設の一つである香里ヶ丘図書館について、さまざまな課題を解決するだけでなく、さらに魅力的で市民に喜ばれる図書館サービスを

お問い合わせ

枚方市役所 市駅周辺等活性化推進部 新庁舎・香里ヶ丘推進担当
電話: 072-841-1364 (内線 3883)

参考) <https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000011114.html>

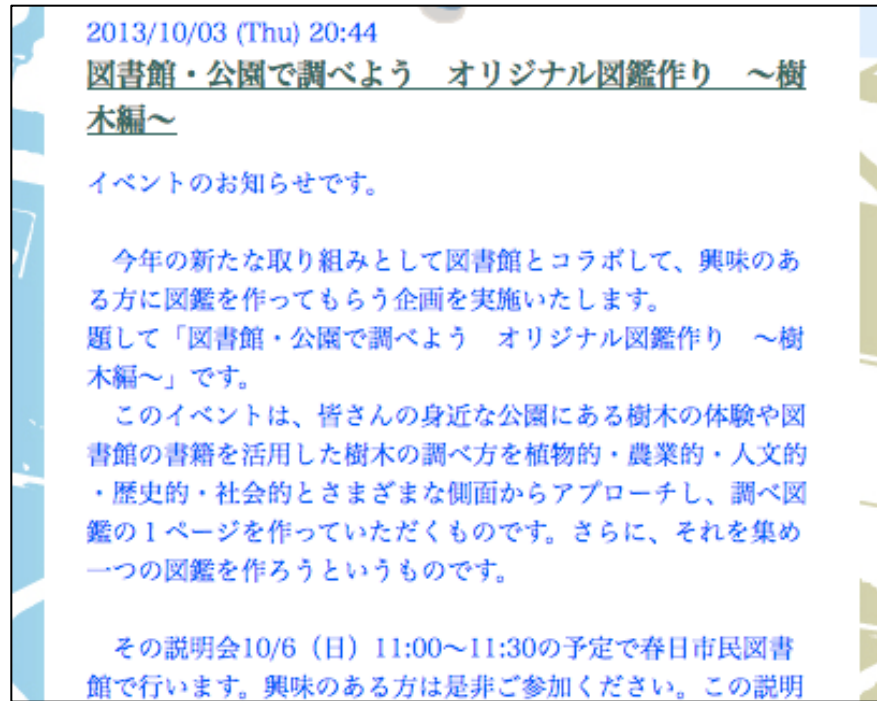
図書館を通じて公園を知ろう —みんなで作る公園図鑑

市民による「公園活用研究会」



The screenshot shows the official website of Kasugashi City. At the top, there's a header with the city logo and name '春日市 Kasugashi'. Below this is a navigation bar with links like 'トップページ', '暮らし', '子育て・教育', '文化スポーツ', '健康・福祉', and 'まちなりの紹介'. The main content area is titled '公園活用研究会「まいぱく」' (Park Utilization Research Association 'Maipaku'). It includes a list of activities under '緑化活動' (Greening Activities) such as '生垣奨励補助金', '春日市緑化推進等に関する条例', '花いっぱい運動', and '公園活用研究会「まいぱく」'. A detailed description of the association's goals and activities is provided, mentioning the 'Spring City Regional Planning Project' and the aim to create a 'Maipaku' (my park) for everyone.

図書館とのコラボイベント



The screenshot shows a library event announcement. The date and time are '2013/10/03 (Thu) 20:44'. The title is '図書館・公園で調べよう オリジナル図鑑作り ～樹木編～' (Let's investigate in the library and park: Original book making ~Trees~). The text describes the event as a collaboration between the library and the park utilization research association. It aims to create a book about trees in the park, using the library's collection and the association's field research. The event is scheduled for October 6th (Sunday) from 11:00 to 11:30 at the Kasugashi City Library. It is open to anyone interested in trees and parks.

春日市民図書館（福岡県春日市）

<http://www.city.kasuga.fukuoka.jp/siseijoho/toshidukuri/ryokuka/maipaku.html>

<http://maipaku.blog92.fc2.com/>

リーディング in パーク（茨城県つくば市）

広がる「公園読書」 つくばのNPO、開始1年

市民寄贈、3000冊貸し出し

ツイート

G+

B! 7

チェック

シェア 13

「公園で本を読んで過ごそう」-。管理事務所で貸し出した本を公園で自由に読める「リーディングinパーク」事業が、つくば市内で広まりつつある。NPO法人日本スポーツ振興協会(同市大角豆)が同市二の宮1丁目の二の宮公園で始めて1年余。市民の賛同を得て好評となっている。事業は今年5月、同市御幸が丘の科学万博記念公園にも広がった。新たな公園活用と読書スタイルの提案として注目が集まる。

同事業のスタートは昨年7月。二の宮公園の指定管理者である同NPOが同6月、市の協力を得て市報「広報つくば」で本の寄贈を呼び掛けると、地域住民から絵本や歴史小説、科学書など幅広いジャ



貸し出された本を皆で読む親子=つくば市御幸が丘の科学万博記念公園

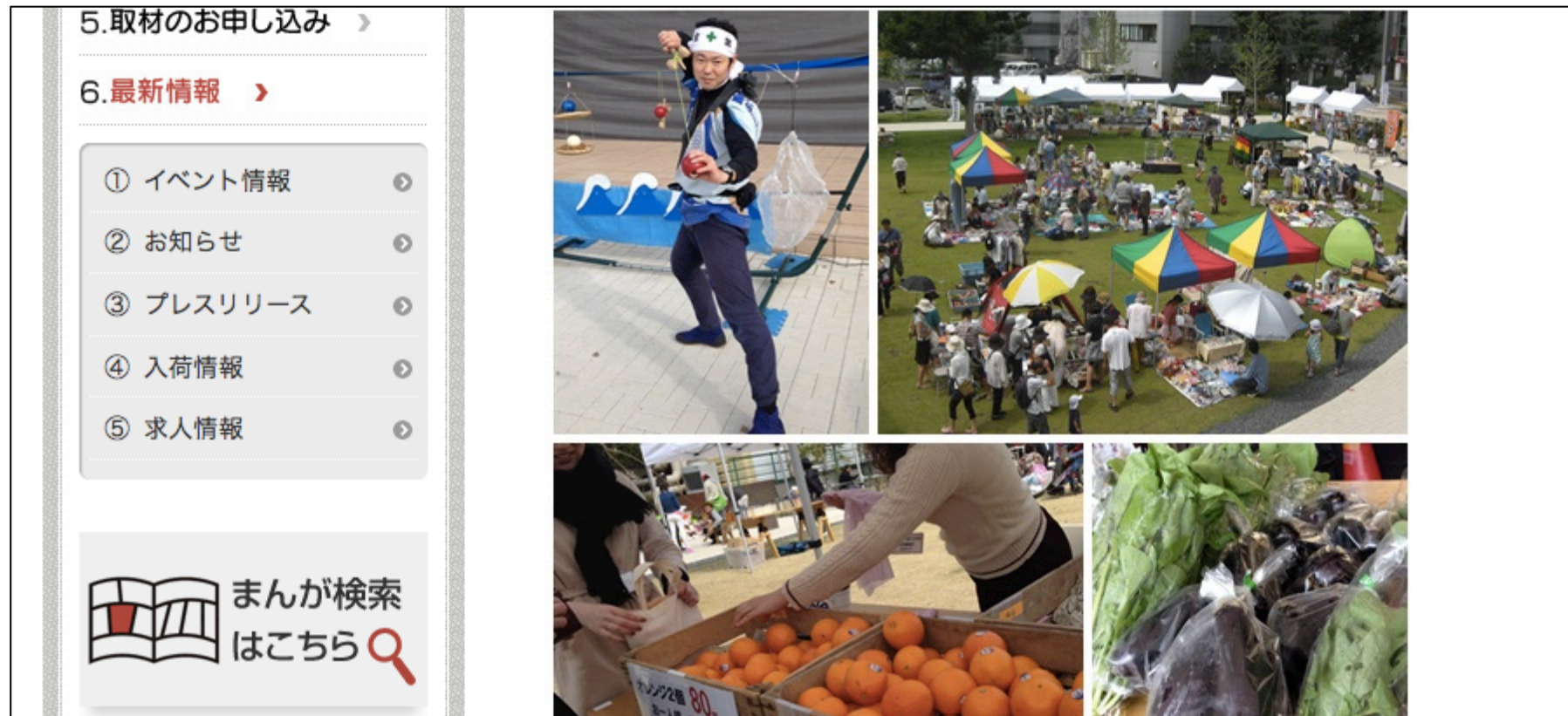
参考) http://ibarakinews.jp/news/newsdetail.php?f_jun=14737671360086

アウトドアライブラリー URBAN PICNIC（兵庫県神戸市）



参考) アウトドアライブラリー : <http://urbanpicnic.jp/outdoor-library/>

公園を活用した多様なイベント開催 ー立川まんがぱーく大市と芝生広場



参考) <http://mangapark.jp/topics/event/mp59/>

The background features abstract, overlapping green geometric shapes in various shades of green, creating a modern and dynamic feel. The shapes are primarily located on the left and right sides of the slide, framing the central text.

平成29年度第二回中央図書館区民懇談会
国内図書館の取組事例の紹介